



那覇市ボランティア・市民活動センター情報



【発行】社会福祉法人 那覇市社会福祉協議会 TEL.098-857-7766 FAX.098-857-6052
〒901-0155 那覇市金城3-5-4 (E-mail) info@nahasyakyo.org (URL) http://www.nahasyakyo.org

QRコードで
市社協情報を
ゲット!!



ボランティアセンターだより

ボランティア募集

☎098-857-7766

ボランティアを希望する方は、
ボランティア登録と活動保険
加入手続きが必要となります。



書き損じハガキ&使用済み切手の提供・協力をお願い

那覇市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センターでは、書き損じハガキや使用済み切手、テレホンカード・交通カードを換金し、在宅で生活している障がい(児)者へ紙オムツ券をプレゼントしています。昨年度も継続的に参加協力下さっている企業・団体・個人様方いらっしゃいますが、紙オムツを必要とされている方の人数が増えてきている状況です。ご家庭や職場におありでしたら、提供のご協力をお願い致します。また、企業・団体様方へは、収集に使用する‘ボランティアBOX’の設置も行っておりますので、上記電話番号へご一報いただけますと幸いです。



ボランティアBOX 取組団体(3月受付団体)

- 1 三井住友海上火災保険 株式会社
- 2 株式会社 国際重機
- 3 ブレーン沖縄
- 4 石川外科クリニック
- 5 とーまデイサービス
- 6 首里石嶺ハイツ自治会
- 7 那覇市子どもみらい課
- 8 彩風の杜
- 9 北保健センターがんじゅう会
- 10 まつやま保育園
- 11 すがやま保育園
- 12 おきでんグループ
ボランティア互助会

ボランティア BOX

贈呈式紹介

2/28(水)に“まつやま保育園”、3/6(火)に“おきでんグループ ボランティア互助会”、3/12(月)に“すがやま保育園”が届けに来ていただきました。園児たちは、古切手や書き損じはがきが今後どのように使われるのか、真剣に聞いておりました。
おきでんグループ ボランティア互助会は、独自に収集呼びかけをしてくださっています。
那覇市社会福祉協議会一同、感謝を申し上げます。



▲おきでんグループ ボランティア互助会



▲まつやま保育園



▲すがやま保育園

【問い合わせ先】〒901-0155 那覇市金城3丁目5番地の4 (那覇市総合福祉センター内)
那覇市社会福祉協議会ボランティア・市民活動センター TEL.098-857-7766

平成30年2月17日～平成30年3月20日(順不同)



社会福祉法人 那覇市社会福祉協議会

インフォメーション

ご案内

平成30年度「ボランティア活動保険・行事用保険」 加入手続きについて

ボランティア活動保険

ボランティア活動中のさまざまな事故によるケガや損害賠償責任を補償します。

さらに後遺障害もフルカバー(※)なので安心!

(※)後遺障害保険金は、後遺障害等級1級から14級までのすべてがお支払いの対象になります。

加入申込み手続き

所定の「加入申込書」に必要事項をご記入・ご署名(フルネーム)またはご捺印のうえ、保険料を添えて、最寄りの社会福祉協議会にご提出ください。既作成の名簿がある場合は、「加入申込書」に名簿コピーを添付してください。

名簿の書式は問いませんが、
個々の加入者氏名と
加入プランを明記してください。



加入条件

那覇市社会福祉協議会およびその構成員・会員ならびに登録されているボランティア個人、ボランティアグループ・団体。

1名あたり
保険料

【補償期間】	平成30年4月 1日 午前0時～ 平成31年3月31日 午後12時
基本タイプ	Aプラン:350円/Bプラン:510円
天災タイプ	Aプラン:500円/Bプラン:710円

ボランティア行事用保険



地域福祉活動やボランティア活動の
さまざまな行事における

- ◎主催者や参加者のケガ
- ◎主催者の賠償責任(主催者責任)を補償します。

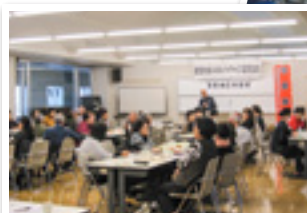
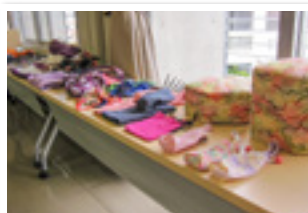
プラン紹介

- Aプラン** 宿泊を伴わない行事
- Bプラン** 宿泊を伴う行事
- Cプラン** 宿泊を伴わないかつ参加者が事前に特定できない行事

地区 交流会

那覇市地域ふれあい デイサービス運営協議会

今年度も、那覇市地域ふれあいデイサービス運営協議会の地区交流会が、本庁・真和志・首里・小禄の4地区に分けて開催されました。今回も、ふれあいサロンで活動されている団体さんも参加されて、そこで作成している作品の展示もあり、ふれあいデイサービスのボランティアさんも興味津々で、色んな質問が出たり、実際に手に取ったりして和気あいあいとした交流会になりました。



お気軽に
お問い合わせ
ください。

那覇市ボランティア・市民活動センター

☎098-857-7766

〒901-0155 那覇市金城3丁目5番地の4
(那覇市総合福祉センター内)

E-mail 7766volu@nahasyakyo.org

FAX.098-857-6052



地区担当コーディネート

かりゆし長寿大学校・卒業生&在校生 ボランティア・地域活動交流会 (in 首里地区在住)

去る3月12日(月)、かりゆし長寿大学校の卒業生・在校生で首里地区に在住している37名の皆様が参加され、地域で出来る5つの活動(社協・包括・ちゃーがんじゅう課・子どもの居場所・民生委員児童委員)をテーマに、ワークショップを開催いたしました。参加者の地域で活動したいという想いを、今後の活動に繋げて行けたらと思います。



生活支援サポーター(訪問B)連絡会

高齢者の生活を支えるサポーターさん。カフェのような雰囲気です。受けた福祉用具ミニ講話の関心が高かった。後半は、サポーターさんから活動を通しての意見交換と現役のヘルパーさんから買い物支援についてアドバイス。次回はリクエストの多かった紅茶をご用意してお待ちしております♪



「沖縄タイムス福祉協力員」 「包括支援センター」との意見交換会

「配達による見守りで気になっていること」「連携してできること」についての意見交換。連絡ルートの確認や民生委員、自治会、交番との連携を望む声など、活発な意見が交わされた。この繋がりを深め「じんぶん」をつかって共に地域を見守りたい!



サロン「下谷若葉の会」と 「ひまわり水よう会」が交流

はるばる、山口県岩国市より7名が来沖。県営赤嶺団地のサロン「ひまわり水よう会」と交流した。互いの活動紹介や、アダンの葉を使ったおもちゃ作りに挑戦したり、三線の音色に合わせて踊ったりと、沖縄の文化を体験。次回は山口訪問を約束。あっという間の2時間であった。



この広報誌は、共同募金の配分並びに皆様からの社協会員費によ

地域をつなぐ

**地区担当
コーディネーター**

とは？

地域における支援を必要とする人々の生活圏において、制度の狭間にある要援護者等の見守り・発見、相談から必要なサービスへのつなぎなど等、セーフティネット機能の体制づくり、福祉関係機関や地域住民参画への福祉のまちづくりコーディネートを行います。



「お互いが暮らしの中でできること、声かけ、つなげて、支えあう」

去る、3月20日(火)沖縄県立博物館(講堂)にて、那覇市地域福祉基金事業を活用した、「なは見守りフォーラム2018」が開催されました。今年で4年目を迎える那覇市安心生活創造推進事業ですが、那覇市内において現在地域見守り隊37カ所が結成しているなかで5カ所の活動発表とアドバイザーによる講話をしていただきました。会場からは付箋紙に書かれた①質問②提案が多数出されました。内容はまとめ次第ご報告させていただきます。活動発表者とアドバイザーは下記の方たちです。

活動発表者

- ・楚辺中央自治会会長 翁長芳弘様
- ・東雲自治会会長 牧志 朗様
- ・くもじ地域自治会会長 東恩納 寛治様
- ・宮城区自治会 理事 名嘉山 吉子様
- ・ペンタス花の会 会長 安里 恵美子様

アドバイザー

- ・NPO法人まちなか研究所わくわく
副代表理事・事務局長 宮道喜一様



活動発表内容はそれぞれ異なるものでしたが、会場の皆様と情報の共有が持てたことは大変意義深いものでありました。アドバイザーからは「地域づくり」と「見守り活動」の視点から地域見守り隊の役割・地域づくり活動の担い手・見守り活動対象者の絞り込み等、細かく丁寧にアドバイスをいただきました。なは見守りフォーラム2018で得た情報・知識を那覇市安心生活創造推進事業最終5年目に向けて、更に地域見守り隊の推進、地域づくりに活かしていきたいと思えます。活動発表者・アドバイザー・関係機関の皆様、お疲れさまでした。そしてありがとうございました。



子どもの居場所へ広がる、 地域支援の輪!



今回は、子どもの居場所への共感と理解が広がっている事例のご紹介です。(有)ケアエンドサービス様主催の20周年記念コンサートのチケット売上全額のご寄付。市民有志の皆様からはお米、沖縄企業物産連合様からは豆苗の寄贈がありました。大きな支援と励ましに、心より感謝!!

